

1 述語的世界と〈第二の脳〉序説……………中村雄二郎……………1

はじめに 2

一 蔵本論文と津田論文からの示唆 4

二 〈体性(感覚)マーカー〉仮説および〈第二の脳〉へ 13

三 ジャーソンによる〈腸神経系〉への着眼 19

四 腸についての価値の転換 27

五 暫定的まとめ 32

2 「科学の終焉」とは……………佐藤文隆……………37

一 「冷戦」科学の終焉 38

二 ポアンカレの「真理の探究」 47

三 純粹科学について 56

四 冷戦とアメリカ科学 59

五	貧しい国の自立とその条件	123
六	生産力の上昇	127
七	適正技術の問題	133
八	分配の公正	136
九	都市—農村問題	140
一〇	将来の問題	143
5	次世代への科学／技術の教育……………岡田節人……………	149
一	まえがきとしての概観	150
二	市民生活の中の科学——さらわれる科学／技術	151
三	科学／技術の智からの乖離	160
四	科学の表現	170
五	科学を演奏する——実践的体験の報告	175
	まとめ	183

6	マルチメディアの将来……………	長尾 眞……………	187
一	情報通信の技術……………		188
二	マルチメディアの環境と技術……………		194
三	マルチメディア社会……………		206
7	科学の方向を決めるもの……………	吉川 弘之……………	221
	——科学アカデミー……………		
一	科学者の新しい役割……………		222
二	科学の行方を決めるもの……………		227
三	アカデミー……………		233
四	科学の行方……………		242
	おわりに……………		246